

北半球の2023-24年度産柑橘類は生産量回復の予測

FreshPlaza 2023年11月17日

世界柑橘類機関(WCO)は、2023-24年度シーズンの北半球柑橘類予測を発表した。この予測は、WCOが11月15日に開催した世界柑橘類見通し会議の後で発表され、エジプト、ギリシャ、イスラエル、イタリア、モロッコ、スペイン、チュニジア、トルコ及び米国のデータに基づいている。柑橘類の予測生産量は2,897万6,001トンとされており、これは不作であった前のシーズンと比較して12.2%多く、過去4シーズンの平均よりも1.48%多い。

生産量		全柑橘類					
国名	2019	2020	2021	2022	2023	前年比	対4年平均
 スペイン	6,419,572	7,282,750	7,218,000	5,833,000	5,949,500	+2.00%	-11.05%
 イタリア	2,865,009	2,911,785	3,065,156	2,422,511	2,583,000	+6.62%	-8.28%
 ギリシャ	1,182,000	1,161,000	1,120,027	1,188,167	1,100,000	-7.42%	-5.40%
EU合計	10,466,581	11,355,535	11,403,183	9,443,678	9,632,500	+2.00%	-9.70%
 トルコ	4,409,185	4,376,987	5,411,598	4,488,000	6,528,500	+45.47%	+39.75%
 エジプト	4,870,844	4,473,255	4,524,400	4,897,000	5,403,500	+10.34%	+15.18%
 モロッコ	1,422,490	2,053,065	2,601,500	1,743,000	2,009,700	+15.30%	+2.80%
 イスラエル	457,000	440,500	506,000	516,000	529,000	+2.52%	+10.24%
 チュニジア	366,418	440,700	349,900	290,000	365,000	+25.86%	+0.90%
地中海沿岸非EU国合計	11,525,937	11,784,507	13,393,398	11,934,000	14,835,700	+24.31%	+22.01%
地中海沿岸国合計	21,992,518	23,140,042	24,796,581	21,377,678	24,468,200	+14.46%	+7.19%
 カリフォルニア州	3,863,301	3,752,085	3,117,746	3,534,392	3,411,015	-3.49%	-4.37%
 フロリダ州	2,982,147	2,358,236	1,842,461	735,477	931,679	+26.68%	-52.94%
 テキサス州	211,261	127,456	69,425	125,214	110,677	-11.61%	-17.00%
 アリゾナ州	65,292	27,223	45,369	50,802	54,431	+7.14%	+15.39%
米国計	7,122,000	6,265,000	5,075,000	4,445,886	4,507,801	+1.39%	-21.29%
北半球合計	29,114,518	29,405,042	29,871,581	25,823,564	28,976,001	+12.21%	+1.48%

* エジプト、ギリシャ、イスラエル、イタリア、モロッコ、スペイン、チュニジア、トルコの業界団体のデータ及び米国(アリゾナ州、カリフォルニア州、フロリダ州及びテキサス州)は米国農務省のデータに基づく。

柑橘類の総輸出量は同様の傾向で、昨シーズンに比べて11.4%増、過去4シーズンの平均に比べて4.5%増の948万3,770トンと予測されている。

フィリップ・ビナルWCO事務局長の話「市場の予想は、昨シーズンの低水準からの回復を示している。増加は主にトルコとエジプトの増加に影響されており、他の国々は横ばいまたは微増である。」

エリック・アンバー氏(CIRAD: 開発のための農業研究国際協力センター(フランス))の話「今年の予測では、生産国や柑橘類の品目によって状況は様々だが、回復が見込まれる。しかし、遅霜、干ばつ、熱波等の天候上の問題や新たな病虫害が、果実の品質、色付き、収穫時期に影響を与えた。市場は依然として地政学的な不安定さの影響を受けており、一方、消費者の需要は購買力の制約とインフレにより圧迫されている。」

スペインの柑橘類生産量は2%増の590万トンであり、ソフト柑橘類は前年度から横ばいで、オレンジは減少(-6%)、レモンは増加する。イタリアは6%増の260万トンで、オレンジが増加(+20%)、ソフト柑橘類とレモンが減る(それぞれ-10%)のに対し、ギリシャは7%減の110万トンと予測される。

他の地中海沿岸諸国では、トルコがすべての品目で力強く成長し、初回の生産予測で650万トン(+45%)と現在市場をリードしており、700万トンを超える可能性もある。これは、栽培面積の拡大、生産性の向上、隔年結果、及び好ましい気象条件による。エジプトは540万トンで、前年比で10%、過去4年間の平均に対して15%の増加となる。主要品目のオレンジは370万トン(+5%)、ソフト柑橘類は2桁成長でほぼ130万トンに達すると予想される。モロッコは生産量は一部回復し、ソフト柑橘類は100万トン(+11%)、オレンジは93万トンで、柑橘類合計は200万トン強と予想される。イスラエルの生産量は36万5千トンと推定されるが、最近の紛争と同国への攻撃は、収穫と梱包に要する労働力及び供給、物流に関する複数の課題の原因となっている。

米国の生産量は1%増の450万トンで、オレンジは増える(240万トン、+10%)が、ソフトな柑橘類は減少(85万6千トン、-2%)、レモンはさらに少なくなる(88万9千トン、-12%)ものと見込まれる。